

インターネットの活用

ここで勉強すること

- Wi-Fi(ワイファイ)での接続
- インターネットブラウザソフト
- インターネットサイトのドメイン

WI-FI(ワイファイ)の利用

パソコンは普通、LAN(ローカルエリアネットワーク)という、家や会社の中などの狭いネットワークに繋がり、そこを通じてインターネットと通信をします。

最近のノートパソコンであれば、ほとんどの場合、Wi-Fi(ワイファイ と読みます)という方法でインターネットに接続することが出来ます。これを使えば、パソコンに直接何かを繋ぐことなく、インターネットをすることが出来ます(この方法は電波によって外のインターネットと通信をするものであることから、「無線 LAN」とも呼ばれます)。

パソコンの画面下にある「タスクトレイ」という部分に、右のようなアイコン  が表示されていると思います。このアイコンのメニューから無線 LAN 機能をオンにすることで、無線 LAN に接続が出来ます(操作方法は、Windows のバージョンに寄って少しずつ異なります)。

無線 LAN では、外のインターネットに繋ぐための機械(ルータと言います)と接続をして、通信をします。無線 LAN のメニューから、通信をするルータを選ぶと、インターネットに繋ぐことが出来ます。

インターネットブラウザソフト

パソコンには最初から、Internet Explorer(インターネットエクスプローラ)というソフトが入っています。

これは「インターネットブラウザ」というソフトの一つで、これを使って Web サイトに接続を行います。



このソフトは、見た目こそ少しずつ違いますが、次のようになっています。



進む/戻るボタン：今まで見たページを表示したり、「戻る」でページを戻ったあと、元のページに戻る場合に押します。

URL 入力部分：URL の入力をします。

タブ：タブを使うことで、今見ているページを後ろに隠して、別のページを表示することができます。一番右にある黒い部分を押しとタブを増やすことができます。慣れない間は特に使う必要はありません。

ボタン：左から、スタートページを表示するボタン、お気に入り一覧を表示するボタン、その他詳しい設定を行うボタンです。

お気に入りとは、あらかじめブラウザで開いたページをお気に入りにしておくことで、あとで好きなときに見に行くことが出来る機能です。

インターネットサイトのドメイン

インターネットのサイトがどこにあるかは、多くの場合「ドメイン」というもので分かります。

ドメインとは、URL の http://から、最初の/までの間の英語部分です(例えば MSN であれば、t.jp.msn.com)。インターネットの「住所」とも言えるでしょう。

このドメインが「今見ている Web サイトはどこのものか」というものを示しています。/のあとの文字は、詳細な住所(マンションの部屋番号など)